

～タイトル～

「みらいの教員育成プログラム」釧路モデルの実施報告 No.6 (2023年11月16～18日実施)

～本文～

11月16～18日に、「教員基礎」の第6～8回目(若手教員との交流①②, まとめ①)が実施されましたので、概要を以下ご紹介します。

【プログラムの内容】

16～17日の2日間は、釧路校江南高校の生徒が、教職について疑問に思っていること等を現場の若手教員との交流の中で質問する内容でした。18日は、本プログラムを通した学びを整理し、12月9日に行われる報告会に向けての準備を行うことが、活動内容でした。

【若手教員との交流①(11月16日)】

阿寒湖義務教育学校の臺野空先生との交流を行いました。臺野先生からは、授業で学習内容の理解に躓いている子供にどのように対応しているのかと質問について、まずは、学習に躓く子供が出ないように気を付けていること、その上で学習に躓く子供がいた場合は、授業時間以外にもフォローするなどしていることを教えてもらいました。また、子供と関わる上で大切にしていることとして、約束したことを基本的に守る、特別な事情がある場合はそのことを説明して納得してもらうようにしているということも教えてもらいました(写真1)。

【若手教員との交流②(11月17日)】

阿寒湖義務教育学校の山口拓真先生との交流を行いました。山口先生からは、教職の魅力について、子供たちの成長した姿をみたときに実感した経験をエピソードを踏まえて教えてもらいました。また、山口先生自身が教師になって変わったと感じている部分として、子供の行為や発言の背景にあることを考えるようになったことについても具体的なエピソードを交えながら教えていただきました。他にも授業づくりや生徒指導で大切にしている考え方を話していただきました(写真2)。

【まとめ①(11月18日)】

本プログラムを通した学びを整理し、12月9日に行われる報告会に向けての準備に取り組みました。最初に、現場の若手教員との交流を通して自分の課題について学びになったことや感想等の交流を行いました。その後、これまでのプログラムの内容を振り返り、課題について何が分かったのかを整理しました。整理した後は、その内容を発表用の資料として原稿に書いていきました(写真3)。これから12月9日までの間に発表用の原稿を完成させ、わかりやすく伝えることができるようにスライド資料を作成していきます。報告会当日に自分たちが学んだことをわかりやすく伝えることができるよう、準備を進めてほしいと思います。

(写真撮影・文責：星裕、小野亮祐)

掲載写真

写真1：若手教員との交流①



写真2：若手教員との交流②



写真3：まとめ①

